

令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>イノシシやシカなどの野生動物が耕作地を荒らしている。色々対策はしているが、なかなか防ぐことができない。先日、近所でクマが出没し捕獲されたが、その後どうするかを数時間かけて検討されていた。一体どれだけの頭数があるのか。以前はそこまでいなかったが、近年どんどん増えており、これらの施策をどのようにされるのか。</p>	<p>イノシシ等の被害については、全町において発生している。昨年度のイノシシ捕獲頭数は約1,000頭であったが、今年に入ってさらに被害が増加している状況である。この対策としては、捕獲を進めるということのみならず、被害防止に努める必要がある。被害防止事業については、電気柵設置等に係る補助金により支援を行っている。さらに、捕獲促進事業として箱わな等の貸し出しも行っているため、有効的に活用していただきたい。</p> <p>また、わな免許の取得について、今年度もコロナの関係で計画どおりとはいかなかったが、勉強会の開催や学び塾を通して地域内に一人でも捕獲できる人の育成をしていきたい。来年度も引き続き、これらを活用しながら人材育成に力を入れていく。今後は、地域ぐるみでの取り組みにも重要性を感じているため、令和2年度から箱わなの技術を取得した方と連携しながら箱わなの貸付も行っている。こうした取り組みでは、農林課も地域の中に入ったり、広島県のアドバイザー制度も活用しながら、地域ぐるみでの捕獲、或いは被害防止等の相談に乗っていく。</p> <p>併せて、バッファゾーン(山)を整備することでイノシシ等が近づかないようにすることも必要である。これについては、ひろしまの森づくり事業を活用していただきたい。</p>
<p>11月7日の中国新聞にて循環型林業推進全国大会が出雲市で開催されたとの記事があった。そこには、伐採直後に植林をしたり、密度を半減することで省力化するという見出しが出ている。また同日の新聞に、伐採、植林体験、森林の役割の理解をという見出しで北広島町にて中国電力(株)がイベントをされた内容の掲載があった。以前から芸北地域では、里山の活用であったり、薪活が行われていることは知っているが、合併後の町有林の面積、箇所数、樹種、樹齢等、また町行造林についても同様の数値を知りたい。</p> <p>併せて、これらの維持管理、活用の計画を教えてください。</p> <p>平成31年4月に森林経営管理法がスタートするというチラシをもらったが、どの程度町民に周知されているのか。また、今年の3月に町有管理に関する意識調査の実施があったが、その調査結果と今後の方向性が知りたい。</p>	<p>北広島町の町有林の状況について、全町合計の面積2,957ha、箇所数は134団地ある。樹種について、人工林はヒノキ、スギが中心。林齢について、5齢級(50年以上)が1,020haある。</p> <p>町行造林について、全町合計の面積146ha、箇所数は16団地、樹種について人工林は同じくヒノキ、スギが中心。林齢について、5齢級(50年以上)が約119haである。</p> <p>町有林及び町行造林の維持管理、活用について、森林の現況を把握のうえ、資源の適切な管理、大いに有効に活用することが重要と考えている。地域ごとの特徴や目的に応じて、森林を「活用の森」と「保護・保全の森」の2つに区分し、将来を見据えた管理活用計画を策定し、取り組んでいるところである。</p> <p>森林経営管理制度については、平成31年4月に施行された森林経営管理法に基づき、森林所有者は森林を適正に管理する責務が明確化された。これにより、森林管理の実態を把握するため、現況調査及び意向調査を令和元年度より実施している。調査地区の選定及び実施計画は、地域調整会議で協議のうえ実施している。本制度は、町広報、農林業振興資料の配布にて周知している。意向調査は、調査地区への周知のうえ実施しており、これまでに芸北地域で191ha、大朝地域で159ha、豊平地域で166haの実績を有し、令和3年度は芸北地域で204ha、千代田地域で161haを予定している。結果については、現在取りまとめをしており、皆さまの意向を把握しながら森林組合と協議し、施業が可能なものについては間伐等を行っており、その他のものについては現在検討しているところである。</p>

令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>無線放送の廃止について、きたひろネットに加入していない方は情報が受け取れないことがあると思うが、情報が伝わらないことについてどのように考えられているか伺う。</p> <p>プラスチックの収集について、とても良い取り組みであると思うが、身の回りで多くのプラスチックが使用されていることがよく分かる。今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p>	<p>防災行政無線が令和3年3月末で廃止となり、きたひろネットサービスへの切替えをお願いしてきたところではある。しかしながら、それが叶わないご家庭については、現在ほとんどの方が所有しているスマートフォン、或いはピッチャーフォン(ガラケー)等を活用し、「きたひろ情報アプリ(令和3年度リリース)」、「北広島町公式LINE」を通して情報を配信している。また、紙媒体の町広報紙については引き続き継続し、町HPにおいても随時掲載を行うことで全ての町民の方に情報を配信していく。先ほどのご案内のとおり、現在のきたひろネットよりも格段に大容量高速通信が可能な株式会社ピコCOMの光サービスは大いに期待できるものであり、これから求められる新しい生活様式に十分お応えできるものと確信しているため、是非とも活用していただきたい。</p> <p>プラスチックに限らず、ごみ全般の減量化、資源ごみの回収・活用について全体的に取り組んでいかなければならないと感じている。回収については、きれいセンター(安芸高田市との合同収集施設)があるが、施設の老朽化がかなり進んでおり、そこも含めてまずはごみ減量化に力を入れていかなければならない。これは個人のみならず、事業者についても同様に協力をお願いをしている。個人の方へは、まず“ごみを出さない”ということを念頭に資源ごみの回収、分別収集に取り組んでいただいているところである。地域ごとに温度差はあるが、地域団体に協力をお願いし、資源ごみの回収を通して、得られた収入を地域に還元していくという取り組みも行っている。役場では町民課が主体となり、町内全体としてこの課題に取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>長期総合計画の全体図について、具体的な計画作りはどのように示されていくのか。また、大朝地域ではどの部分が該当し、重点的に取り組んでいくのか。イメージ的な部分がこれ(配布資料)だけでは伝わりにくいですが、それはどのような形で伝えられ、実行されていくのか。</p>	<p>令和2年度より、まちづくり総合委員会にて協議・審議のうえ、本計画策定に取り組んできたところである。本日は、全体図として概要部分しかお示ししていないが、施策分野ごとの事業内容などの全体図については、12月初めにまちづくり総合委員会を開き、計画素案をお示したうえで、町HPに掲載し、多くの方から広く意見を募集する予定としている。その中には具体的な事業内容や取組内容について記載をしているが、まちづくりの指針であるため、北広島町全体の目指すまちの将来像を示しており、地域ごとに特化した内容とはなっていないが、その中で地域ごとに特色を活かして取り組んでいくというのも一つの考えであり、計画内容をご覧のうえでご意見をいただきたい。</p>

令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>10月15日の中国新聞にて、周南市の旧熊毛町の住民が周南市から独立運動を開始したとの記事があった。内容は平成の合併促進法で趣旨に沿って合併したものの、発展、整備されていくのは中心部のみで、新町建設計画にある事業も実施されず、周辺部は衰退していく一方であるとのこと。これでは、該当する地域住民の思いは全く叶わないことから、「分立特例法」のような特例を作るような運動を起こしている。ここ大朝地域においても同様のことが言えると感じている。本町の場合は、合併後に期待していた事業がしてもらえず、地域協議会を通じて要望を何度もしたが、叶うことなく地域格差が付いたまま時が過ぎていった。そこで公共施設が様々あるが、どこも老朽化が進んでおり、グリーンヒル、グラウンドゴルフ場、BGの体育館について早期の修繕を行っていただきたい。</p>	<p>公共施設を今後どのようにしていくかということは、大変大きな課題である。大きな方針として、施設床面積の3割を削減していくことを目標としている。人口減少も進み、高度経済成長期に次々と建設された公共施設は現在老朽化を迎えてきており、全てを守っていくことは厳しく、検討しているところである。また、皆さまと相談しながら進めていくつもりであるが、優先順位を付けながら修繕等を行っていき、優先度の低いものについては統合や廃止の選択をしていかなければならない。今後は段階を踏みながら、基本方針を作成し、お示していきたい。</p>
<p>新庄小学校のブランコが錆び付いており、現在使用禁止となっており、子どもたちにとってもできるだけ早期の修繕をお願いしたい。</p> <p>大朝BGへ向かう途中の歩道が無くなっている箇所について、3年間から地域や保護者会にて要望を出しているが、昨年も今年も計画は完了しているとの回答であった。これ以上は町として取り扱わないという風に聞こえるが、県に要望等の働きかけをされているのであれば、それ相応の答え方をしてほしい。なかなか難しいことと承知しているが、現在どういう状況かお知らせ願いたい。</p>	<p>小学校の遊具については十分に検討していきたいと考えている。しかしながら、回転系(ブランコ、シーソー等)の遊具については、安全対策も考えながら進めていきたいと考えている。</p> <p>正式なところでは動いていないが、色々と可能性を探っているところである。しかし、皆さんにお伝え出来ないというのは以前(旧大朝町時代)にも県道会議において、当該舗道は片方のみで良いとの回答しているため、現実的にはかなり厳しい。今後何らかの事業を考えながら、検討していきたいと思う。</p>

令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>コロナの影響で緊急事態宣言が発出され、飲食店は休業を余儀なくされたが、1日当たりいくらか補助が出ていた。しかし、私どもの納入業者には補助が全くなかった。月次支援金ということで個人商店には10万円の支給があったが、正直この金額ではやっていけない。こういった状況から、週に一度飲食店(シェアキッチン)を運営しているが、酒を売ってはいけないとのことで休業した。生活が懸かっており、何とか手立てをと色々試みたり、広島県にも問い合わせたが、このケースの場合、補償金が出せないと言われた。広島県の担当者に声を荒げることもあったが、だからといって補助が出るわけでもなく、町独自の補助についても議員さんを通して相談させてもらったが、良い返事が聞けなかった。何か対策を考えていただけるとありがたい。</p>	<p>コロナの関係で、事業者の方は大変お困りのことと思うが、国からもコロナ対策として臨時交付金があり、令和2年度から一部は事業者支援に充てている状況である。今年度についても5～9月に緊急事態宣言が発出されたため、この期間の売上げと令和元年度の売上げを比較して減少が認められた場合に5～20万円を支給するということで12月補正を提案するつもりである。大きな金額ではないが、そのような支援を考えている。</p>

令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（大朝会場）

質 問	回 答
<p>私の勤務する会社でお米を作っており、この地域のお米がおいしいということを認めてもらうために全国のコンテストに出品している。そこで入賞することもたまにあるが、その時に感じるはその地域であったり、県の取組についてとてもよくアピールされている。その大会での優勝者にはテレビ、新聞、また、その地元でも同じように取り上げられ、かなりのPRができる。ところが、西日本にはお米のコンテストがなく、例えば静岡県では今年18回目の大会があるが、ここのお米が有名になってきたのもこう言った取組みがあつてのことではないかを感じる。静岡県の担当者にかがったところ、この企画では参加費(1万円)を取っており、加えて協賛により運営されているとのことで、県の予算は一切充てておらず、非常に魅力のある取組みではないかと思う。農業に限らず、産業全般において魅力の発信を行っていくことで、北広島町のモノが表彰されるような仕組みづくりと全国的な大会を催し、北広島町の魅力を全国にアピールできるのではないだろうか。北広島町においても声を大にして発信できる取組みにならないかと思っており、ご検討いただければと思う。</p>	<p>町内では、米どころということで各地域で特徴のある米が生産されている。大朝地域では標高を活かして「コンヒカリ」、千代田地域ではこだわりの「あきろまん」、芸北地域では新たに“銀の雫”という「あきたこまち」、豊平地域ではこだわりの「あきさかり」などがある。</p> <p>ご提案のあったことについても一つの考えであると思うが、これからは米価が下がってくる中でいかに売れる米、消費者が求める米を作るかが重要となってくると考える。その中でPRも販売施策の一つであり、今すぐにはいかないが、関係機関と含めて協議する場を設けたいと思っているので、その際にはお知恵をお借りしたい。</p>